

秋田内陸線 再生へのチャレンジ!

仙北市、北秋田市、上小阿仁村による3回連載(第2回)



前号では、「内陸線の現状」と「再生計画が目指すもの」についてお伝えしました。

今号は、「具体的にどのようにして内陸線を再生するのか」「私たちには何が求められているのか」についてご説明します。

再生計画の数値目標

再生計画の期間			
	平成16年度実績	平成18年度目標	平成22年度目標
乗車人員	51万人	66万人	83万人
経常損失額(赤字額)	2億7千万円	2億3千万円	1億5千万円以下

再生計画により、1億2千万円以上の経営改善を目指します。

《数値目標の根拠》

内陸線を仮にバス運行とした場合の経常損失額は1億5千万円と試算されています。

県や沿線市村では、近年の厳しい財政事情等を踏まえると、内陸線を存続するにしても、経常損失額への負担はバス運行の場合と同等額以下に抑える計画が必要との認識で一致したことにより、これを平成22年度(再生計画最終年度)の目標値として設定しています。



再生計画の具体的施策

現状の収益を維持しつつ、再生計画の具体的施策の実施により収益の増加を図ります。

単位：千円

		定 期 客（日常生活客）		定 期 外 客（行楽客等）		
現 状 の 収 益	+	具 体 的 施 策 の 実 施	●市役所定期	2,853(452)	●輸送体制の見直し	8,906
			●高校生定期	20,163(1,430)	●駅の新設・移設	20,988(7,632)
			●通勤定期	3,907(1,047)	●商品券・セット券の販売	7,229(2,400)
			●スクールバスからの乗換	9,371(3,699)	●公共交通機関の日の実施	3,816
			●その他	462	●小・中・幼稚(保育)園利用	12,859(5,109)
			小計	36,756	●各種団体の利用	14,324(5,730)
			数値は平成22年度の目標額（カッコ内は仙北市の目標額）です。 各年度ごとに施策の浸透を図るとともに、新規施策も加えながら段階的に目標達成を目指します。		●企画列車の運行	14,084
					●観光客の増加	5,832
					●沿線地域スポーツ交流会の実施	147
					●沿線地域乗車運動	4,789
					●その他	793
					小計	93,767
			合計		約 1 億 3 千万円の収益増加	

※すべての施策を平成18年度に実施するものではありません。また、推進状況によっては施策の見直しを行う場合もあります。

皆さまへのお願い

施策の実施にあたり、今後、皆さまには直接ご理解とご支援をお願いする機会もあると思います。

目標達成への道のりは非常に厳しいことが指摘されていますが、存続のためには、このハードルを乗り越えることが必要であり、**一人ひとりの熱意と支援行動がカギを握っている**といえます。

どうか、こうした現状をご認識いただくとともに、会社、行政とともに住民の皆さま一人ひとりが再生への主役となり挑戦者となって、地域の夢と願いを実現できるようご支援をよろしくお願い申し上げます。

～次号予告～沿線地域の観光スポットやイベント、
内陸線企画列車についてご紹介します。



内陸線の再生に向けたご提言をお待ちしております。お手紙、FAX、メールでも結構です。

お花見列車「さくら号」 4月中旬～ゴールデンウィーク
弘前さくらまつり⇄角館さくらまつりをJRとの
タイアップにより直通運転します。

詳しくは、右記秋田内陸縦貫鉄道株式会社へお問い合わせください。

●仙北市総務部企画政策課 TEL43-1112 FAX43-1300

メール kikaku@city.semboku.akita.jp

●秋田内陸縦貫鉄道(株) TEL0186-82-3231 <http://www.akita-nairiku.com/>

●北秋田市企画部総合政策課●上小阿仁村総務課